

松尾馨氏

シュタインバート・ギムナジウム 教師



広島大学大学院日本語教育学科修士課程修了。三原国際専門学校講師、福山大学講師を経て、2006年よりドイツのギムナジウム（中高一貫教育校）にて日本語の教鞭をとる。日本をバックグラウンドに持つ子どもたちのための日本語クラブ「でんでんむし」を主宰。複言語・複文化主義をベースとしたことばや文化の学びの実践を目指している。

研究分野 / Research Interests

（年少者）日本語教育、継承日本語教育

主要業績

- 松尾馨（2005）「第1章ヨーロッパにおける言語教育の動向－1.1 ヨーロッパの言語教育政策」ヨーロッパ日本語教師会・国際交流基金（編著）『日本語教育国別事情調査：ヨーロッパにおける日本語教育事情と Common European Framework of Reference for Languages』国際交流基金
- 松尾馨・濱田朱美（2006）「外国語の学習，教授，評価のためのヨーロッパ共通参照枠（CEF）の日本語教育における活用－ドイツ・ベルリン州の中等教育日本語ガイドラインの例－」『世界の日本語教育』16，国際交流基金
- 勝部和花子・札谷緑・松尾馨・三輪聖（2017）「ドイツ発〈チーム・もっとなぐ〉のこども Can Do ポートフォリオ制作プロジェクト－複文化・複言語キッズの「できること」を家庭で，親子で，記録しよう！－」公益社団法人日本語教育学会『世界の日本語教育』
<https://www.nkg.or.jp/wp/wp-content/uploads/2017/06/sekai-germany0606.pdf>